安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト

整理番号 TNI 00250
作成日 2005/12/1
最終更新日 2015/1/1

1. 化学物質及び会社情報

会　　社　：大陽日酸株式会社
住　　所　：〒142-8558　東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.
担当部門　：SI 事業部　　　　担 当 者 ：平　　博　司
電話番号　：03-5788-8695　　　FAX 番号 ：03-5788-8710
緊急連絡先：SI 事業部（電話番号 03-5788-8550）
メールアドレス： Isotope.TNS@tn-sanso.co.jp
ホームページアドレス：http://stableisotope.tn-sanso.co.jp

化学物質　　硝酸カリウム

製品名　　硝酸カリウム-^{14}N、硝酸-^{15}N カリウム、硝酸カリウム-^{15}N, $^{18}O_3$

＊ 安定同位元素で標識された化合物は、標識核種及び位置により製品名称が異なりますが、安全性データは非標識化合物と同一とみなします。従って、特に指定しない限り本シートに記載されているデータは、非標識化合物のデータを採用しています。

---

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性：	火薬類	区分外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外

	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	区分 3
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分 5
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない（粉じん）
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類対象外（ミスト）
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A - 2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 2 （血液） 区分 3 （気道刺激性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 2 （血液）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　警告

危険有害性情報：　火災助長のおそれ；酸化性物質

飲み込むと有害のおそれ（経口）
皮膚刺激
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
血液の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による血液の障害のおそれ

注意書き：
【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
可燃物、その他の禁忌物質から離して保管すること。
熱から遠ざけること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】
火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】
可燃物、その他の禁忌物質から離して保管すること。
容器を密閉して換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処

理業者に業務委託すること。

---

3. 組成・成分情報

単一製品/混合物の区分‥	単一の化合物
化学名 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	硝酸カリウム
含有量 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	９９．０%以上
化学式又は構造式 ‥‥‥	ＫＮＯ$_3$
官報公示整理番号 ‥‥‥	化審法（１）－４４９
ＣＡＳ番号 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	７７５７－７９－１
国連分類番号 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	５．１（酸化性物質　Ｐ．Ｇ ３）
国連番号 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	１４８６
ＥＩＮＥＣＳ番号 ‥‥‥	２３１８１８８

---

4. 応急措置

目に入った場合 ‥‥‥‥	直ちに清潔な流水で１５分間以上洗い、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 ‥‥	石鹸などを用い、充分な水で１５分間以上洗う。
飲み込んだ場合 ‥‥‥‥	多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせ、体内摂取量を少なくし、速やかに医師の診断を受ける。

---

5. 火災時の措置

消火剤 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	水
消火方法 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	周辺火災の場合は、爆発の危険があるので、速やかに容器を安全な場所に移す。大量の水で冷却、消火する。酸化性物質なので窒息消火は不能。

---

6. 漏出時の措置

‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	床面などにこぼれた場合は、直ちに掃き取り、廃棄物貯蔵用蓋付容器に収納する。残りは多量の水で洗い流す。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	皮膚に触れる恐れがある場合は、保護手袋、保護眼鏡及び防塵マスク等を着用する。作業後は、水又は石鹸水で汚染部分を充分に洗い流す。酸化性物質なので、有機物及び還元性物質と混合すると、爆発の危険があり注意する。容器の転倒させる、落下させる、衝撃を加える、又は引きずるなどの粗暴な取扱いはしない。また

加熱を避ける。衣服等に付着すると、加熱等で発火しやすくなるので、汚染した衣服等は、放置しないで充分に水洗いする。

保管 ………………… 認可された危険物の屋内貯蔵所に密封容器に入れて保管し、施錠する。可燃物及び還元性物質と隔離し、直射日光や水漏れを避けて冷所に保管する。

---

8. 暴露防止及び保護措置

保護具 ……………… 呼吸用保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣等を着用する。

設備対策 …………… 局所排気装置を設置する。

---

9. 物理及び化学的性質

外観等 ……………… 無色の結晶又は結晶性粉末。

融点 ………………… ３３３℃

比重 ………………… ２．１１（１０℃）

溶解度 ……………… 水：１０．９ｗｔ％（０℃）、１９．４ｗｔ％（２０℃）
３８．５ｗｔ％（８０℃）

爆発性 ……………… 容易に爆発は起こさないが、酸化性が強く有機物の混入、加熱及び強烈な衝撃等により爆発することがある。火気厳禁。

その他 ……………… 乾燥状態では比較的腐食性は無いが、吸湿した場合及び水溶液では腐食性がある。

---

10. 安定性及び反応性

…………………… データなし。

---

11. 有害性情報

急性毒性 …………… ＬＤ５０　０．１ｇ／ｋｇ（静脈－ネコ）
ＬＤ５０　３２３６ｍｇ／ｋｇ（経ローラット）
８０００ ～３９０００ｍｇで致死（ヒト）

慢性毒性 …………… 飲水中５～３０ｇ（０．７～４０ｇ／ｋｇ／日）生殖障害確認（ネズミ）

---

12. 環境影響情報

分解性 ……………… データなし。

蓄積性 ……………… データなし。

魚毒性 ……………… データなし。

---

13. 廃棄上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 水に溶解し、小量ずつ排水溝に流す。

---

14. 輸送上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 容器が破損しないように乱暴な取扱いを避け、高温にならないようにする。その他、消防法などの法令に定めるところに従う。

---

15. 適用法令

労働安全衛生法 ・・・・・・・・ 危険物・酸化性の物
消防法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 第１類酸化性固体、硝酸塩類
火薬類取締法 ・・・・・・・・・・・ 火薬類
水質汚濁防止法 ・・・・・・・・ 有害物質
水道法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 有害物質、水質基準
航空法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 施行規則第１９４条危険物告示別表第１酸化性物質類･酸化性物質
船舶安全法 ・・・・・・・・・・・・・ 危規則第２、３条危険物告示別表第１酸化性物質類・酸化性物質
港則法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 危険物・酸化性物質
道路法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 車両の通行の制限

---

16. その他の情報

【参考文献】

14504 の化学商品　化学工業日報社
新化学インデックス　化学工業日報社
化学大辞典　共立出版
危険物毒物処理取扱いマニュアル　海外技術資料研究所
主要化学品毒物データ特別レポート　海外技術資料研究所
THE MERCK INDEX ELEVENTH EDITION
医薬品及び化学薬品による中毒　ピーター･クーパー 著
化学品法規制検索システム　日本ケミカルデータベース
GHS 仕様モデル SDS　中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

＊ この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、物理及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して

下さい。